

医学研究センター

これからの医学研究センター

松下 祥

(医学研究センター センター長)



平成16年12月より医学研究センター立ち上げ準備委員会委員長、センターが発足した17年8月より2年間、副センター長ならびに学内グラント部門長を務めて参りました。何もないところからの立ち上げでしたので、他大学の例の勉強に始まって、暗中模索の日々が続きました。組織作りと規程の整備が主な仕事であったと言っても過言ではございません。しかし、この立ち上げ期において、知財アドバイザーをお迎えして知財関係の規程の整備がほぼ終わり、実際の知財活用収入を生むに到ったことは特記すべきであろうと思います。

次の2年間の最も重要な活動として、特に以下の2点を挙げる可以做到。

1) 戦略的研究推進

大学として特徴のあるプロジェクトを対外的に打ち出していくことによって、外部から大型資金を獲得できる体制を整備すること、そして、それが法人の研究における収支構造の改革に結びついていくことが重要であると思われます。このためには各部門の業務の統合と人材の有効活用も必要となります。

2) プロジェクト研究の推進

学内の研究者同士、または学内と学外の共同研究を推進するために、プロジェクト研究を支援することが必要です。これらは知財獲得、それに基づく共同研究費や受託研究費などの獲得、大学の対外的評価、大学としての補助金獲得、ひいては研究における収支構造の改革と切っても切り離せない関係にあります。具体的には学内グラントをそのソフト面での支援として、また、7号館(旧理学療法棟)をそのハード面での支援として、計画的に整備して参ります。

また、センターと研究主任の緊密な連絡体制の確立への取り組み、データベース構築と正しい研究評価、共同利用体制の整備、安全管理、助手未満の研究者の身分の整理、等々、とりくむべき課題は山ほどございます。

このような取り組みは、競争的グラント獲得へと変貌しつつある私学助成のシステムに対応して私学が生き残っていくために必要不可欠なものであります。今後とも時代のニーズを敏感に読み取りながら活動していく所存でございますので、ご理解ご支援のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。